

大町市の企業紹介 52

— 地域を支える地方企業 —

「広報おおまち」では、市内の企業を紹介しています。内容は企業から提出いただいた原稿を基に掲載しています。掲載を希望する企業は、産業立地戦略室(〒196-8541)までご連絡ください。



中部電力株式会社 大町サービスステーション 暮らしに欠かせない電気を安定的にお届けします

当事業場では、大北地区の皆さまに良質な電気を届けるため、さまざまな取り組みを行っています。その一つに、電線に樹木の接触がないか、電柱上にできた冠雪が設備に影響を与えないかなどを確認する巡視業務があります。停電によりお客さまにご迷惑をお掛けしないために、定期的に実施し異常箇所発見の都度対応しておりますが、それでも停電に至ってしまう場合があります。これに備え、24時間出向可能な復旧体制を整えておりますが、作業内容によっては停電が長時間にわたる場合もありますので、何とぞご理解をお願い致します。

また、市民の皆さまからの通報により、停電を未然に防ぐことができました事実も数多くありますので、「樹木が電線に接触している」「電線が切れている」などを発見した際には、弊社までご連絡をお願いします。



い致します。なお、切れた電線は大変危険ですので絶対に触らないよう重ねてお願い致します。さて、弊社では、家庭向け会員サービス「クラブカテエネ」をホームページに開設致しました。過去の電気料金や使用量が一目で確認することができ、電気を賢くお使いいただくための役立ち情報がいっぱいですので、この機会にぜひ登録無料のクラブカテエネをご利用ください。(詳細はホームページ「中部電力 カテエネ」で検索してください)

■所在地：大町市大町3214-1 (仁科町)
Tel.0120-984-531
■ホームページ：<http://www.chuden.co.jp/>
■代表者：所長 酒井良治
■事業内容：電気事業

大町市有線放送電話農業協同組合 大町市民に向けた情報の提供

IT社会の変化の速度を表現するのにドッグイヤーという言葉が使われることがあります。犬の生涯は人間と比べ時間の経過が7倍程度早いことから、急速に変化していく様子を表現しています。

有線放送が産声を上げたのは、公社電話が普及していなかった昭和48年当時、南部と北部の有線放送が統合された時からです。以来、地元の情報提供に深く関わってまいりました。

その後、ブロードバンド時代到来で、データ伝送容量が大きいADSLを大手企業に先駆けて提供し、12年が経過しました。現在も放送に軸足を置きつつ、一方ではパソコンやタブレット端末などを包含したブロードバンド環境の総合的な受け皿として、地元の皆さまにご利用いただいています。

成熟した情報化社会で要となるのはキュレーション(収集された情報を分類、パッケージ化して新しい価値を持たせて共有すること)



■所在地：大町市大町3815 (桜田町)
Tel.有線22-1297
■ホームページ：<http://omachiyusen.jimdo.com/>
■代表者：代表理事組合長 西山忠宏
■事業内容：有線放送電話業

と)であるといわれます。これを支える要素にユーザーインターフェイス、いわゆる「使い勝手」があります。ユーザーインターフェイスが複雑で多種多様な電子機器があふれている今、40年以上にわたり有線放送は「取扱説明書不要」「耳を傾けるだけ」という、これ以上の単純化は不可能なメディアとして活用されてきた実績があります。

今後加入者目線に立って、大町市の情報を送り出すキュレーターとしての役割を果たしてまいります。